

令和元年度同窓会会長 西塔 正樹 氏

学校の沿革

年 月	摘 要
昭和23年 9月	石川県立羽咋高等学校定時制普通科を設置。他に邑知分校、志雄分校を置く。定員150名。
昭和24年 4月	高浜分校設置。定員50名。
昭和28年 4月	邑知分校を志雄分校に合併統合。
昭和30年 4月	志雄分校を中心校に統合、中心校教場を旧能友高校校舎(能登織物工場経営)を借用。 2年制短期課程家政科となる。
昭和36年 4月	中心校教場を羽咋中学校羽咋教場の一部を借用移転。
昭和37年 4月	昼間2部制授業開始。家政科 定員約140名。
昭和38年	元石川県立羽咋高等女学校本館に移転。
昭和38年	短期課程を4年制に復旧、翌年度より実施に決定。
昭和39年	家政科 定員約150名を募集。
昭和39年 5月	高浜分校は昭和38年4月1日より石川県立羽咋高等学校全日制分校設置に伴い自然解消。
昭和40年	募集定員が家政科約100名となる。

昭和42年	募集定員が家政科約90名となる。
昭和43年	専攻科設置、定員約35名(洋裁科約20名、和裁科約15名)を募集。
昭和44年	昭和45年度より、第1学年普通科定員84名とし、昭和45年度、第2学年を普通科に転科措置を講ずる。
昭和45年	全日制校舎移転に伴い、その跡(羽咋市旭町ア200)に移転、羽咋市役所と分割同居。
昭和45年	昭和46年度より第1学年普通科定員84名。専攻科の募集を停止。現専攻科1年生は、昭和46年度4月開校予定の石川県立羽咋女子専門学校2年に編入を決定。
昭和46年	昭和47年度定時制募集定員 普通科約80名となる。
昭和47年 4月	昭和47年4月1日石川県立羽松高等学校として独立。なお、本年度以降募集定員は普通科約8 0名となる。 初代校長として山田外久男が就任。
昭和49年	第2代校長として真田正則が就任。
昭和50年	校舎改築起工式及び地鎮祭。
昭和52年	第3代校長として松村勝が就任。
昭和52年	鉄筋コンクリート造4階建の新校舎に移転。
昭和53年3月	運動場完成。
昭和54年 1月	体育館完成。自転車置場完成。
昭和54年 6月	校舎等落成式。
昭和55年 3月	校庭緑化事業「ふるさとの杜」完成。

昭和56年	校庭緑化事業ふるさとの杜「ふるさとコーナーあずまや」完成。
昭和56年	第4代校長として角地政隆が就任。
昭和56年	創立10周年記念式典を挙行する。10周年記念誌発行。
昭和59年	第5代校長として笹谷和男が就任。
昭和61年	第6代校長として松田嘉男が就任。
昭和63年	第7代校長として永井昭雄が就任。
平成 元年 4月	第8代校長として安藤三郎が就任。
平成 3年 4月	第9代校長として北本照雄が就任。
平成 3年 9月	創立20周年記念式典を挙行する。20周年記念誌発行。記念植樹、テント1張、テレビ1台、 カセットレコーダー5台購入寄贈。
平成 5年 4月	募集定員が普通科40名となる、北国繊維工業(株)は勤労生徒の採用をとりやめる。
平成 6年 4月	「羽松特別活動」制度廃止。「PTA」の創設。
平成 8年 4月	第10代校長として松田外喜男が就任。 午前の一部制となる。3年修業制度が導入された。空き教室を利用して「やすらぎ教室」が開設された。
平成 9年 4月	推薦入学実施。学校開放講座を開設する。学校施設を広く地域に開放する。
平成11年 4月	第11代校長として松木直夫が就任。 「やすらぎ教室」が羽松高等学校に移管された。
平成12年	単位制高等学校になると共に、2学期制を採用する。 第12代校長として前田義則が就任。

平成13年3月	余裕教室活用整備事業 相談室「悠遊」完成。
平成13年	創立30周年記念式典を挙行する。30周年記念誌発行。記念樹(イチイ)を植樹。校舎壁面に 校章設置。校門前に安全ミラー設置。校舎周辺整備。
平成14年 4月	第13代校長として萬行秋男が就任。
平成14年	平成14年県立学校教育活動活性化マイプラン事業で本校より申請の「電気窯」設置。
平成15年	保健室、会議室の改装で保健室リニューアルと面談室の新設なる。
平成16年4月	第14代校長として中橋樹が就任。
平成17年	体育館屋根の葺き替え工事完了。
平成17年 10月	パソコン室を改装し、自習室、個別学習室を設置。
平成18年4月	第15代校長として寺内泰良が就任。
平成18年	体育館耐震補強工事完了。
平成19年4月	第16代校長として髙倉良介が就任。
平成21年	第17代校長として太田信が就任。
平成22年 4月	第18代校長として三原久信が就任。
平成23年	創立40周年記念式典を挙行する。40周年記念誌発行。
平成25年	第19代校長として平聖一郎が就任。
平成27年	第20代校長として近岡守が就任。

平成29年 4月	第21代校長として橋本正哉が就任。
令和元年 4月	第22代校長として木田肇が就任。